



学校だより 8月号

市田っ子

令和7年7月18日発行
熊谷市立市田小学校

花と笑顔とあいさつ「ありがとう」いっぱい学校

市田小HP <http://www.ichida.ed.jp/>

市田小HP→



目標へ向かって(子ども)&待ってほめる(大人)夏に!

学校長 森 洋子

「聞いたことは忘れる、見たことは覚える、やったことはわかる」と言われています。

学んだことは使ってみて、初めて自分の力になるのです。経験・活動の大切さ、また実践できる力を養うことの大切さをよく言い表していると思います。学校は、**学んだことを知識として蓄えることだけが目的ではありません**。子供たちにとって毎日が経験の積み重ねです。その中で子供たちは「人として大事なこと」を学んで成長していきます。

市田の子供たちに学校生活を通してつけてほしい力は、「**学んだことをもとに、自分で考え、創造し、実践していく力**」です。実践の段階では試行錯誤を繰り返し、失敗することも多いでしょう。でも、失敗の数が成長の数だと思っています。もしかしたら「失敗」なんて言葉はないのかも知れません。挑戦した証、と言えます。そこで、経験したことを使える力、身に付けるために、次の3つがポイントであると言われています。それを実践するチャンスの夏です。



1つ目は、その体験に、**目標を持つ**こと。こんなことをやらされた、では何も身に付きません。同じやるなら、「〇〇やってみたいな!」って決めてやってみる。

2つ目は、体の全感覚(見る・聞く・味わう・嗅ぐ・触れる) **五感を使って**経験してみる。

「なぜ? どうして?」自分なりの考えを持ち、経験することが、自分の本物の力となる。

3つ目は、人との**関わりを大切に**する。一人ではできないことも力を合わせればできることがたくさんあります。力を合わせてできたことは、何よりの自分の宝。

今の時代を生きる子供達には、**目標に向けての「やり抜く力」「忍耐力」「情熱」「自律性・自発性」等、他者との「社交性」「敬意」「思いやり」等、気持ちの「コントロール」「自尊心」「楽観性」「自信」等**、学力テストや偏差値のように**点数化できない「非認知能力」を高める**ことが必要と言われています。目標に対し自分で取り組む。困難があっても工夫や試行錯誤を繰り返す。他者と協力して、成功してもうまく行かなくても**結果を受け入れる**。そしてまた次の目標や物事に挑戦する。この力を育てたい。そのために私たち大人も、



- ・ 子供たちが安心して活動できる**環境を準備**すること
- ・ 主体的に取り組む姿勢や困難が生じたときに、まずはすぐに手や口を出さず**待つ**こと
- ・ 結果やできばえではなく、**過程(やっている姿)を認め、ほめる**こと
- ・ 結果に(成功しても失敗しても) **共感**すること
- ・ 次への**期待や挑戦を示す**こと

が大事なのだそうです。

市田小では、さまざまな経験を存分に行った前期前半でした。子供たちと共に活動し、時には時間をかけて話し合い、自分たちで考えさせることを大事に、教職員一同、毎日を重ねてきました。ここまでの学びを活かし、先生との夏休みの約束・自分で決めた目標を心に、どうぞ安全で豊かな夏休みを過ごしてください。

タブレットやスマホ・動画やテレビを上手に使おう!



この夏、テレビやSNSを“**選んで**”観る、という事をしてほしいと思います。ただ、流れているものを観る、ではもったいない。「これが知りたい!」をとことん調べるのは、とてもいい事です。保護者の方と、時間・約束を決めて、**自分で時間を守り、自分で電源を切ることを目標**にしましょう。夏休みは「自分でチャイムを鳴らす」そういう気持ちで1日を組み立てて欲しいと思っています。

学校教育目標

いき生きと学び

ちからいっぱい活動し

だれとでも仲良く

授業参観 ～子供たちの様子はどうか？～

6月26日（金）に「授業参観」を行いました。4月から3か月。新しい学級にも慣れ、1回目とは違った雰囲気での授業参観だったと思います。また、引き渡し訓練にも多くの保護者の方にご協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。



校内授業研究会 ～よりよい授業を目指して先生方もがんばっています～

7月7日（月）に校内授業研究会を行いました。本校は昨年度に引き続き、算数科の研究をしています。今年度の研究主題も、「**学力の基礎基本を身につけ、物事を解釈する力（読解力）を高める学習指導～一人一人が『探求する』『協働する』学習を通して～**」です。各学力調査の結果から本校の子供たちの課題が「**読解力**」とわかりました。読解力を高めるには、読書が不可欠です。家庭でも読書に取り組んでいただけるとありがたいです。また、読み聞かせも子供の成長にはとても良いといわれています。夏休みにぜひ、読み聞かせをしてみてください。

当日は、6-1が研究授業を行いました。熊谷市教育委員会の指導主事を招聘し、先生方で授業を見合い、よりよい授業を目指して取り組んでいます。

租税教室 ～税金の大切さ～

7月3日（木）に6年生が「租税教室」を行いました。熊谷県税事務所の方が税金の仕組みや使われ方、大切さを教えてくださいました。百万円の札束や1億円等（ともにレプリカ）を見せてくださり、その重さに子供たちも大興奮でした。



五家宝体験 ～熊谷の伝統の銘菓を学ぶ～

6月20日（金）に3年生が五家宝体験を行いました。「花堤」の方に来校していただき、熊谷の郷土の銘菓である「五家宝」の作り方を教えていただきました。また、体験もあり、実際に食べることもでき、子供たちは楽しく学ぶことができました。

